

# 2017年度 学校法人 三幸学園 名古屋リゾートアンドスポーツ専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 和田 忍

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 山田 悠斗

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、スポーツ分野の学校として「スポーツを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、スポーツ分野として「スポーツを通じて健康と楽しさを提供できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ① 前年度重点施策振り返り

学園のミッション・ビジョン実現とスポーツ分野のビジョンや教育理念、そして人材育成像の実現に向け取り組んだ。

- ・即戦力として活躍できるよう「業界との連携強化」
- ・社会人として当たり前のことを当たり前に行えるよう「基本に忠実に、継続する」ことを念頭に普段の学校生活から「習慣化」
- ・学習習熟度強化の為に「教科連携の工夫」と「魅力ある授業の工夫」

浸透されつつあるが、「社会的価値」をより深く理解していく必要があるため、まだまだ改善の余地がある。

### ② 学校関係者評価委員会コメント

浸透に向けて継続しているため、引き続き情熱を持って対応いただきたい。根本的な部分の浸透は継続的に言い続け、浸透手段として視覚(掲示など)でも訴えていく必要がある。意識して対応されると良い。

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

#### ① 課題

年度始めに保護者説明会を実施し、年 2 回の郵送物（成績表と一緒に送る）、節目節目で保護者電話連絡で生徒の状況は都度共有しているが、年度始めにお伝えしている教育理念や人物育成などは保護者が耳・目にすることは少ない。また、業界の声も取り入れつつ育成人材像は設定できているが、常日頃から全員が意識し、具体的行動を示しているもののまだ薄い。

#### ② 今後の改善方策

生徒に使用している「スタディサプリ」を保護者へも活用し、定期的に発信をしていきたい。なお、保護者全員に登録してもらうためには、どうすべきなのか検討であり、生徒にも浸透させていく必要はあると感じる。また、教職員には目に見える形で具体的行動が見えるようにし、意識してできているか確認するようにしたい。また定期的な振り返りや発信を行うことで教育の原点に立ち返る機会を創出する。

#### ③ 特記事項

学校の理念・目的・育成人材像は、入学前のオリエンテーションや保護者説明会にて新入生及び保護者に提示している。また、入学後に行なう全生徒対象の研修プログラムでも、学校の理念・目的・育成人材像は周知し、そこに向かうべく、個々の目標設定と管理を徹底している。

校内及び教室に、学校の理念・目的・育成人材像の記載されたポスターを掲示している。

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

多くの方々に取り組んでいることを周知できるよう、引き続き努めて頂きたい。

## (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

### ① 課題

情報システム化による業務の効率化については導入が始まっている（取り組んでいる）が、個々人で十分に効率よく活用できていない。システム化によるメリットと活用方法を浸透させていくことが課題である。

### ② 今後の改善方策

導入した情報システムツールの活用頻度を上げ、活用することが当たり前の環境を作り出す。  
システムの活用が生徒・講師・学校側全てにとって有益であることを発信し続ける。

### ③ 特記事項

講師情報開示ファイルや WEB 上の教務揭示版の設置など、情報システムの導入はしている。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

適切に実施していると感じる。情報システム化による業務の効率化に向けて改善できることを期待したい。

### (3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

#### ① 課題

多様化する入学生に対し、教育・指導していくための研修を十分行えていない。サポート体制は作っている(バディ制や担任会議にてワーク・ディスカッション)が、個人差が目立ってしまう。

#### ② 今後の改善方策

本部より提供いただく研修機会を積極的に受講するよう促しを強化していく。また、授業アンケートや担任アンケートをより活用し、強み・弱みを分かった上で課題を提示し、日頃から改善できる具体的な行動を設定していく。

#### ③ 特記事項

人材育成として OJT 研修を毎週定期的実施している。

能動的学習を進めていく中で、アクティブラーニングを取り入れた授業を強化している。

企業様に授業見学を実施いただき、授業内容を含め授業展開のアドバイスを頂いている。

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

多様化する時代(生徒)に対応すべく、日頃から積極的に情報交換して頂きたい。

#### (4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

##### ① 課題

就職する・させることが目的ではなく、就職後も見据えたキャリア支援をする意識の強化が課題。また、卒業後の勤務継続状況など連絡が取れない卒業生もいるため、企業様と連携を図り、一層勤務状況やキャリア情報収集に力を入れることも必要。退学率低減に向けては数年前より取り組んでいるおり、改善傾向にあるが継続し続ける必要がある。さらに、卒業後のキャリア支援は強化し始めているが、まだ薄いため、強化することが課題。

##### ② 今後の改善方策

就職支援授業で就職活動の仕方はもちろん、業界で働くイメージを十分沸かせる必要があり、その為に業界勉強会や企業訪問をすることで、教員側の学びの場を多くする。その上で、生徒には十分な情報を提供できるよう努めていく。企業訪問にて学校教育にご理解を頂き、関係性を築き、卒業生情報はもちろん早期離職とならぬよう連携を強化していく。

卒業生に対し、勉強会や講習会・交流会を持つなど、場の提供を進めていく。

##### ③ 特記事項

資格取得率アップに向けては、強化合宿の実施や集中講義を定期的実施するなどの取組みは行っている。また、退学率低減に向けて、入学前と入学後のギャップを大きく生じさせないため、入学前にオリエンテーションを実施し、入学者の保護者も一斉に集め、説明会も実施している。

##### ④ 学校関係者評価委員会コメント

就職させることが目的とならぬように、将来を見据え、就職(キャリア)支援を行って頂きたい。また、卒業生同士の繋がりを持てる場があると在校生にとっても卒業生にとっても良いと感じる。

## (5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

### ① 課題

卒業生へのキャリア支援や中途退学者への支援体制も検討していく必要がある。

### ② 今後の改善方策

学校の中だけが教育の場と考えるのではなく、広い視野に立った包括的な支援を意識・実践していく。また、在籍時より卒業生サイトがあることの告知を強化し、有効活用していく。実施予定として卒業生向けに講習会・勉強会を予定している。

保護者連携としては、スタディサプリを用いた定期的な情報発信により、学校教育への理解を図る

### ③ 特記事項

エリア担当と担任とで、就職サポートを実施している

カウンセラーの設置、学生の希望により定期的に話をすることができる環境がある

学生の経済的側面に対する支援体制として、奨学金や各種教育ローンを設けている。

学生の生活環境への支援としては、提携している寮等の案内がある。

高校との連携では、職業紹介のガイダンス等で協力させていただいている。

退学者に対するアンケートを実施、今後の学校運営に役立てている

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

卒業生支援に力を入れ始めている為、継続して取り組んで頂きたい。なお、学生支援という部分では取り組まれていることを継続して実施して行って欲しいし、期待している。

## (6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

### ① 課題

災害を想定した避難訓練の内容や頻度。ならびに、安全管理の観点や災害の意識強化。

### ② 今後の改善方策

職員に対する非難訓練を実施し、安全面への意識を高めていく。また万が一の事態に備え非難経路の確保については常日頃から点検を行う。また、ホームルームにて生徒へ避難訓練の意義や必要性を伝達する。

### ③ 特記事項

平成 28 年度の 3 月に全面的な改修工事を実施したことで以前にも増して学ぶ環境を整えることができた。  
防災に関して、避難訓練の実施や周知。避難経路の掲示等も対応している。  
企業と連携し、現場が求めている人物像をキャッチし、実習前後の指導・アドバイスを実施している。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

より一層環境整備に努め、防災に対する整備を継続して行って欲しい。また、教職員用の物品も揃えても良いと感じる。

## (7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

### ① 課題

愛知県や愛知県専修学校各種学校協会等の規定に沿って、適切に行なっているため、特に大きな課題はない。なお、高校側に対して学校教育に理解をいただき、業界や専門学校の状況を知っていただく。また、18歳人口の減少に伴い、募集対象の幅を広げ学生募集を行っていく必要がある

### ② 今後の改善方策

AO入試や特待生入試等の入試方法について誤解を招かぬよう、説明・対応に努めて行く。また、高校や保護者には業界理解を高めて頂くため、説明会を実施するなど、場の提供を行っていく。

### ③ 特記事項

特になし。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

募集活動は適正に行われていると感じられる。入学後や卒業後の具体的なイメージを付けられると良い。引き続き規定に沿った対応をお願いしたい。



## (8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### ① 課題

#### 【中長期計画】

なし

#### 【予算・収支計画】

なし

#### 【会計監査】

なし

#### 【財務情報の公開】

なし

### ② 今後の改善方法

#### 【中期計画】

昨年度に第2次中期計画を策定している。今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

#### 【財務情報の公開】

なし

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし。

## (9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

### ① 課題

個人情報の取り扱いやコンプライアンスの遵守について継続して徹底していく必要がある。

### ② 今後の改善方策

現時点で問題になるようなことは起きていないが、継続して啓蒙活動を行う必要がある。

### ③ 特記事項

特になし。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

引き続き適切な対応・取扱いに努めて頂きたい。

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

### ① 課題

現在実施している活動からも、特に大きな課題はない。

### ② 今後の改善方策

特になし。生徒の教育効果にもつながり地域の方々にとっても有益な講座や教育訓練を企画していく。

### ③ 特記事項

特になし。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

これまでのより組みを聞いても積極的に実施し、双方とても良い状況で実施できていると感じる。継続的に実施してもらいたいし、社会貢献などの機会（情報）があれば委員としても提供できるようにしていきたいと考える。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

自己評価の結果は概ね問題ないが、細部までしっかりと点検・確認し、地域や業界から必要とされる学校になるために課題を把握し、学校運営をしていく必要がある。

2018年度でも引き続き、下記を取り組んでいく。

- ・目標や計画を具体的に設定されているように感じるため、継続的により良い学校創りに努める
- ・教育理念にある教育に一層力を入れ努める。
- ・就職支援(在学・卒業後)、検定・資格合格率向上、退学率低減により努める。